

この教室では、気象庁マスコットキャラクターのはれるん  が、気象について教えてくれます。

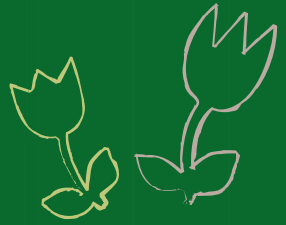
3時間目は「気温の測り方」について学びましょう。

はれるんのお天気教室

新緑が目に見える美しい季節になりました。
この時期は、夏のように暑い日や、
肌寒い日があったりと、
毎日の気温変化が大きく
体調を崩しやすくなります。
ところで気温はどこで、
どうやって測っているのでしょうか？
…そう、温度計で測っているのですが、
そこには天気の専門家の
深～い工夫が凝らされているのです。



3時間目
気温の
測り方

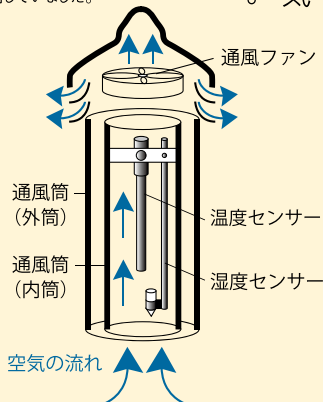


百葉箱(昔懐かしい?)
かつては自然通風式の百葉箱を使用していました。

気象庁の気温の観測は、電気式温度計を用いて、風通しや日当たりの良い場所の芝生の上1.5mの位置で観測しています。
屋外で気温を正確に測るためには、日射や風雨の影響を受けないようにする必要があります。このため、上部に電動ファンを設けた通風筒つうふうとうの中に温度計を入れ、筒の下から常に一定の速度で外気を吸い込みながら、気温を測定できるように工夫しています。
また、定期的に基準の温度計と比較観測をすることにより、観測機器の精度を維持しています。
このような仕組みで、正確な気温を24時間ずっと測定しています。
みなさん、わかりましたか？



通風筒
断熱材が入った内外二重円筒の構造で、この中に電気式の温度計と湿度計が入っています。さびにくいステンレス製で、内部を直射日光や雨から保護しています。



はれるんプロフィール

名前:はれるん(気象庁マスコットキャラクター)

種別:地球の自然(太陽、雲、雨)

所属:気象庁総務部総務課広報室

趣味:天気予報

仕事:国民の気象庁に対する親近感を深めること。

その他情報:

特技は、雲の襟巻きを回転させ、空を飛ぶこと。(地球上に災害が発生しないよう監視するため)

各地のお天気フェアや気象友の会の見学会のほか、気象庁HP、気象庁一階にある「気象科学館」で会うことが可能。

